

## 少子化対策と男女共同参画を一体的、 総合的に推進をしていく考えは

### 提案については、今後の課題とする



植松米作 議員

**質問** 次世代育成支援対策推進計画と男女共同参画計画の具体的推進策は。

**答弁** 平成17年度に策定した、次世代育成支援対策行動計画に基づいて、支援策の推進を図るため、町子育て支援推進協議会を立ち上げました。

この協議会から出された具体的推進策について平成19年度から実現すべく、進めています。

男女共同参画の推進については手作りの紙芝居や小学5年生への「こんな子いるよね」を推進委員で作成し、冊子の配布

をしています。

女性が就業し易い職場環境づくりや家庭環境づくりの両面から一体的、総合的にという指摘には答えられました。

また、そのための検討委員会や協議会を立ち上げるという提案については、今後の課題です。

○その他の質問事項  
・各団体との協働による行政の推進について



母子健康手帳と父子健康手帳

## 医療費無料化対象の引上げは 少子対策として積極的に検討する



大橋利彦 議員

**質問** 乳幼児医療費無料化で県の二分の一負担が小学校入学まで引上げられ、今まで町が負担した部分が減るが、これを財源に町単独でさらに対象年齢の引上げを来年度予算に取り込んだらどうか。

**答弁** 県の乳幼児医療費負担事業の拡充により、昨年度を参考に試算すると約320万円程度が町の負担減となる。学年別医療費の実績や、福祉医療費全体のバランスとの調整をする中で、少子対

○その他の質問事項  
・中小企業者の営業を守るために今すぐ町でできること  
・富士見町の農業の未来はどこにあるのか  
・生涯学習の充実について